

平成 30 年度日本カヌースプリント選手権大会

CANOE

坪田 思いを胸に 圧巻の勝利

**女子カナディアン 500m 優勝
2等陸曹 坪田 恵**



【表彰式での坪田 2 曹】

9月6日から10日までの間、石川県小松市で行われた平成30年度日本カヌースプリント選手権大会にカヌー班から坪田2曹以下7名が参加し、アジア大会2018（インドネシア）日本代表の坪田2曹が女子カナディアンシングル500mで初優勝。また、藪3曹が男子カナディアンシングル500mで第2位、男子カナディアンペア1000mで第3位の成果を収めた。

坪田 2 曹 秘めたる闘志で初優勝を飾る！

大会4日目、女子カナディアンシングル500mに出場した坪田2曹は、予選から準決勝まで危なげないレースで決勝に駒を進めた。迎えた決勝、昨年度本種目の覇者であり、最大のライバルである久保田愛夏選手（日体大）が第4レーン。坪田はその隣の第3レーンに入った。スタートの合図が鳴り75m付近。攻めのパドルさばきで坪田がややリード。その後、坪田が250m付近までリードを保ち、レースを優位に進めた。400m付近ではさらにその差を広げ、そのまま猛烈なスパートでフィニッシュ。久保田選手に約3秒の差をつけ圧巻の勝利だった。

試合後、坪田2曹は、「ライバルである久保田選手を意識せず、ゴールを見つめひたすら自分のレースに集中したことが良かった。今後は、来たる東京五輪への選考レースで結果を残せるように、一步一步努力を続けていきたい。」と新たな決意を語った。

藪 3 曹 カナディアンシングル 500m 第 2 位 カナディアンペア 1000m 第 3 位

男子カナディアン（シングル500mで第2位、ペア1000mで第3位）と健闘した藪3曹は、試合後、「500mのレースで、スタートして徐々にトップから離されたが、その後は差を開けられることなくゴールすることができた。今後は技術・体力そしてメンタル面をさらに強化し、世界で戦える選手になりたい。」と今後の抱負を熱く語った。

総合成績（入賞以上）

2等陸曹 坪田 恵 (MEGUMI TSUBOTA)	女子カナディアンシングル 500m 優勝 (2分15秒109)	広島県出身
3等陸曹 藪 碧透 (AOTO YABU)	男子カナディアンシングル 500m 第2位 (1分57秒052) 男子カナディアンペア 1000m 第3位 (4分03秒422) ※ペア 橋本 将都選手 (サコス (株))	北海道出身 (出身部隊： 東部方面通信群)
3等空曹 熊井 友弥 (TOMOYA KUMAI)	男子カナディアンペア 500m 第4位 (1分50秒267) 男子カナディアンペア 1000m 第4位 (4分05秒613) ※ペア 濱田 貴史選手 (大正大学水会カヌー部)	大分県出身 (出身部隊： 第8航空団)



【ラストスパートをかけ、観衆を魅了した藪3曹】

